

令和5年12月27日公表

令和5年度 食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査 農業支援サービスに関する意識・意向調査結果

本調査は、令和5年8月下旬から9月下旬にかけて、有償の農業支援サービス（以下「有償サービス」という。）に関する意識・意向に関して、認定農業者等がいる個人経営体の世帯主及び団体経営体の代表者である農業者 20,000 人を対象として実施し、10,351 人から回答を得た結果である。

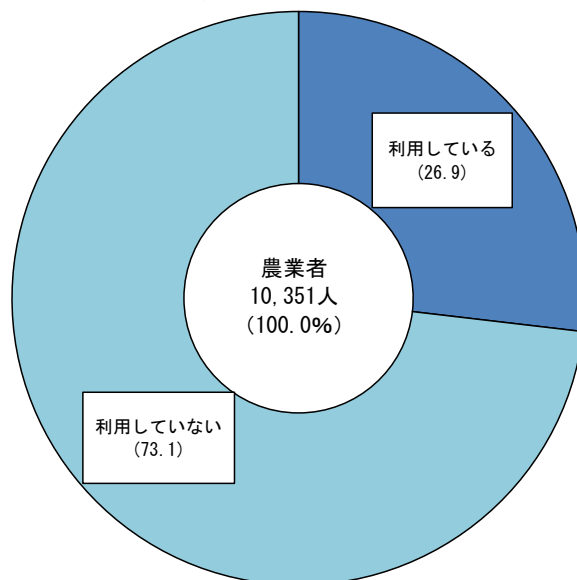
【調査結果】

I 農業者計

1 有償サービスの利用状況

有償サービスの利用状況については、「利用している」と回答した割合が 26.9%、「利用していない」が 73.1%であった。（詳細は、統計表の 2 参照）

図1 有償サービスの利用状況



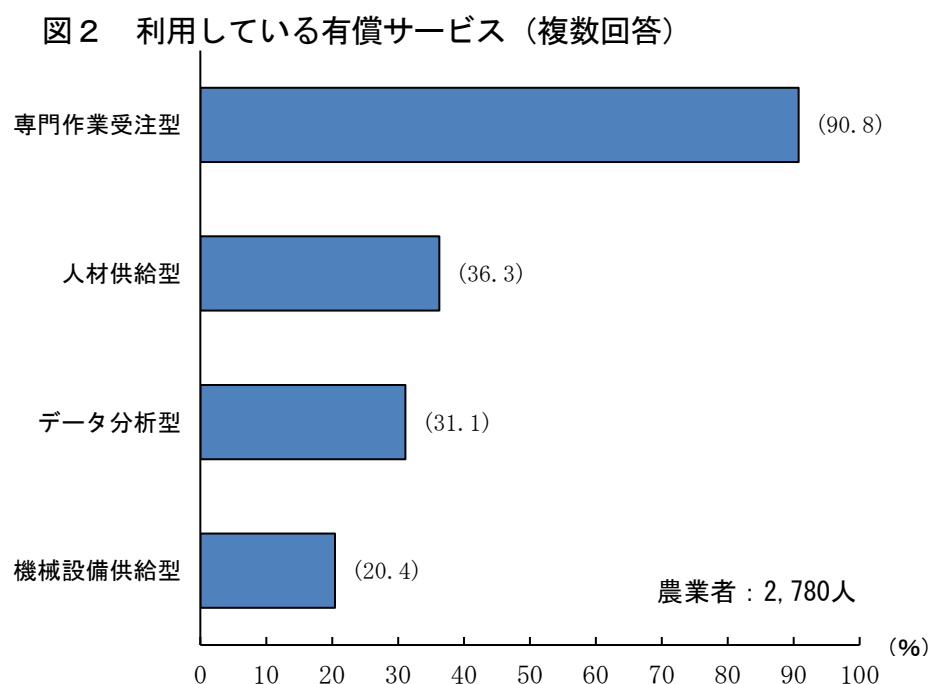
注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の計が 100.0% とならない場合がある（以下同じ。）。

農業支援サービスとは、不特定の農業者等に対して対価を得てサービスを提供することをいい、ドローン散布等の作業受託やデータ分析、農業機械のシェアリング、農業現場への人材供給等をいう。ただし、農産物の流通・販売に係るサービス（代理販売や共同出荷など）や税理士による青色申告等の会計業務、獣医師による受精を除く医療行為は含まない。

なお、本調査では過去1年間の販売金額1位の部門についての有償サービスを対象とする。

2 利用している有償サービス

1で「利用している」と回答した者において、利用している有償サービスを4類型別にみると、「専門作業受注型」と回答した割合が90.8%と最も高く、次いで「人材供給型」（36.3%）、「データ分析型」（31.1%）、「機械設備供給型」（20.4%）の順であった。（詳細は、統計表の3（1）参照）

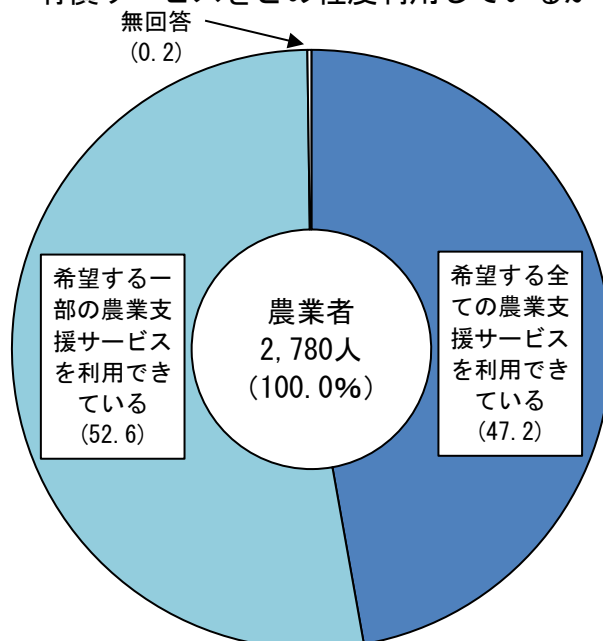


注：4類型の詳細については、次のURLの「用語の解説」を参照（以下同じ。）。
https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/attach/pdf/nougyou_shien_23.pdf

3 有償サービスをどの程度利用しているか

1で「利用している」と回答した者において、希望した有償サービスをどの程度利用しているかについては、「希望する全ての農業支援サービスを利用できている」と回答した割合が47.2%、「希望する一部の農業支援サービスを利用できている」が52.6%であった。（詳細は、統計表の4参照）

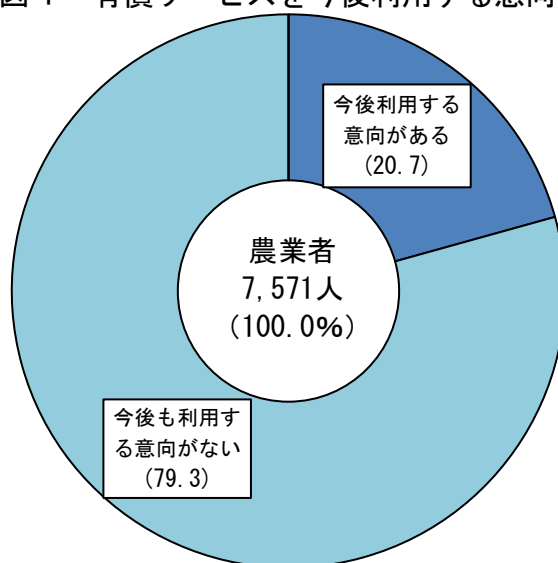
図3 有償サービスをどの程度利用しているか



4 有償サービスを今後利用する意向

1で「利用していない」と回答した者において、有償サービスを今後利用する意向については、「今後利用する意向がある」と回答した割合が 20.7%、「今後も利用する意向がない」が 79.3%であった。（詳細は、統計表の 5 参照）

図 4 有償サービスを今後利用する意向



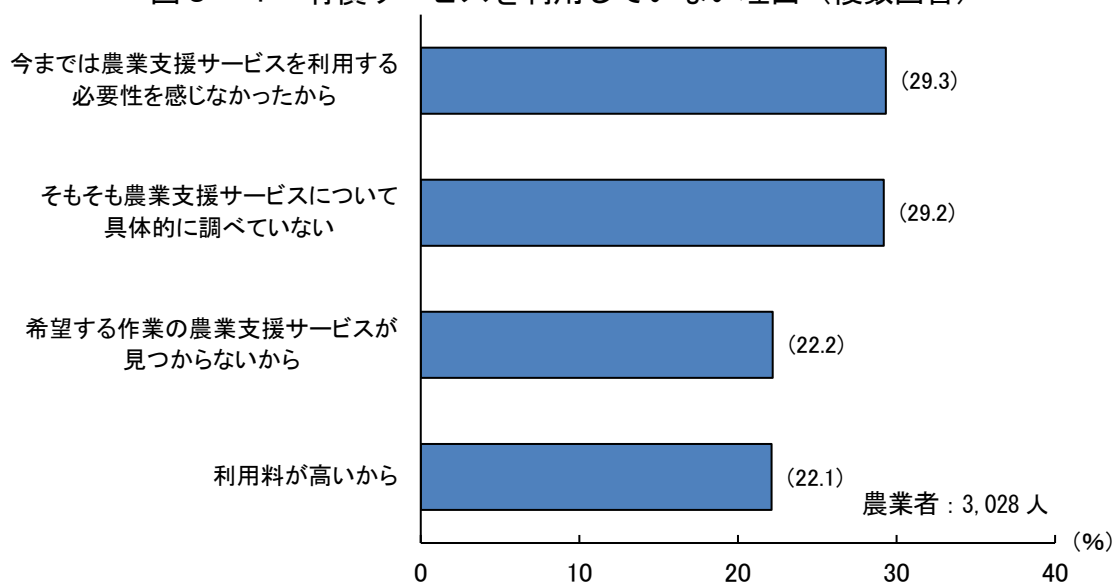
5 有償サービスを利用していない理由

(1) 利用を希望する有償サービスがある者

3で「希望する一部の農業支援サービスを利用できている」と回答した者^(注)及び4で「今後利用する意向がある」と回答した者において、有償サービスを利用していない理由については、「今までは農業支援サービスを利用する必要性を感じなかったから」と回答した割合が 29.3%と最も高く、次いで「そもそも農業支援サービスについて具体的に調べていない」(29.2%)の順であった。（詳細は、統計表の 7 (1) 参照）

注： 「3で「希望する一部の農業支援サービスを利用できている」と回答した者」とは、現在利用している有償サービス以外のサービスに希望する有償サービスがある者である（以下同じ。）。

図 5 - 1 有償サービスを利用していない理由（複数回答）

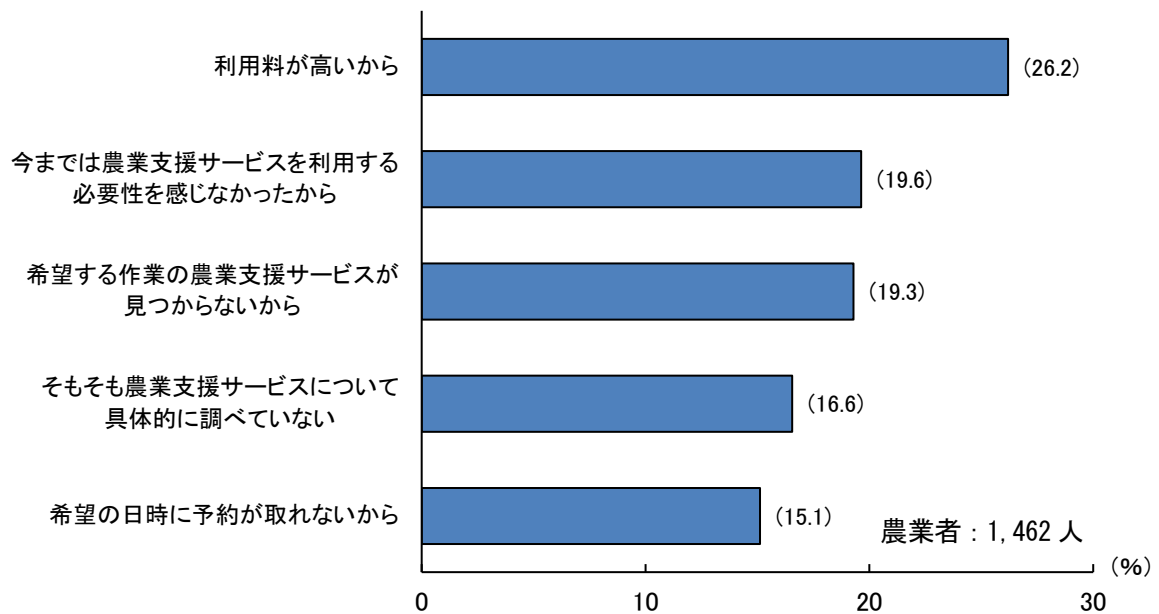


注： 回答の割合が 15%未満の回答及び無回答については、図の掲載を省略している（図 5 - 2、図 5 - 3 及び図 7 に同じ。）。

(2) 希望する一部の有償サービスを利用している者

3で「希望する一部の農業支援サービスを利用できている」と回答した者において、それ以外の一部の有償サービスを利用していない理由については、「利用料が高いから」と回答した割合が26.2%と最も高く、次いで「今までは農業支援サービスを利用する必要性を感じなかったから」(19.6%)、「希望する作業の農業支援サービスが見つからないから」(19.3%)の順であった。(詳細は、統計表の7(2)参照)

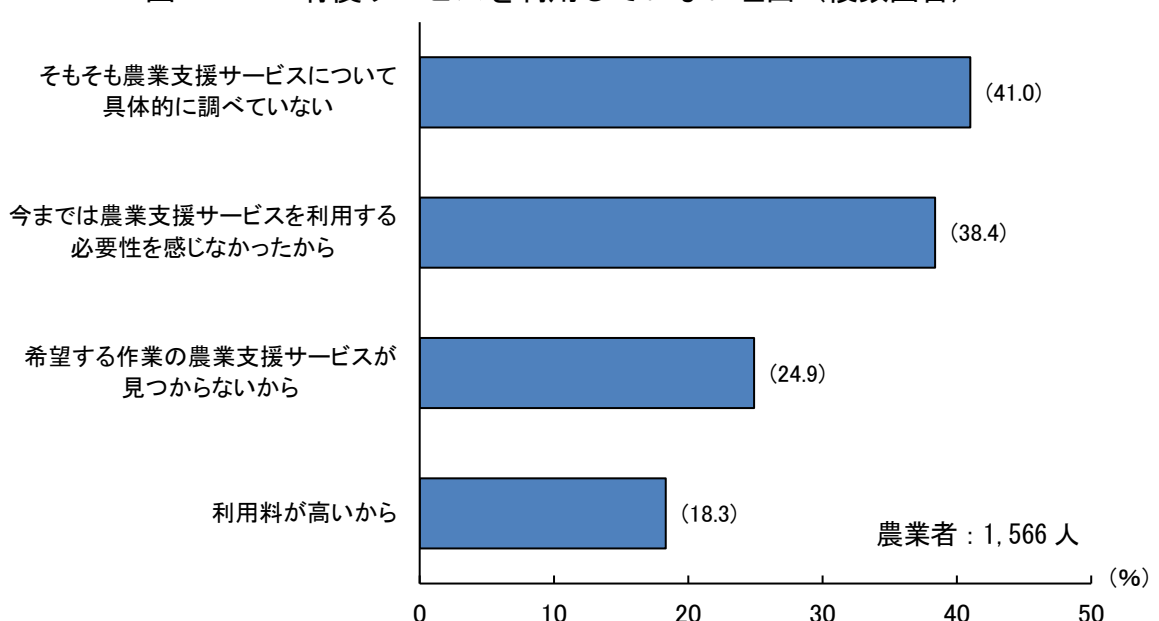
図5-2 有償サービスを利用していない理由（複数回答）



(3) 有償サービスを利用していないが、今後利用する意向がある者

4で「今後利用する意向がある」と回答した者において、有償サービスを利用していない理由については、「そもそも農業支援サービスについて具体的に調べていない」と回答した割合が41.0%と最も高く、次いで「今までは農業支援サービスを利用する必要性を感じなかったから」(38.4%)、「希望する作業の農業支援サービスが見つからないから」(24.9%)の順であった。(詳細は、統計表の7(3)参照)

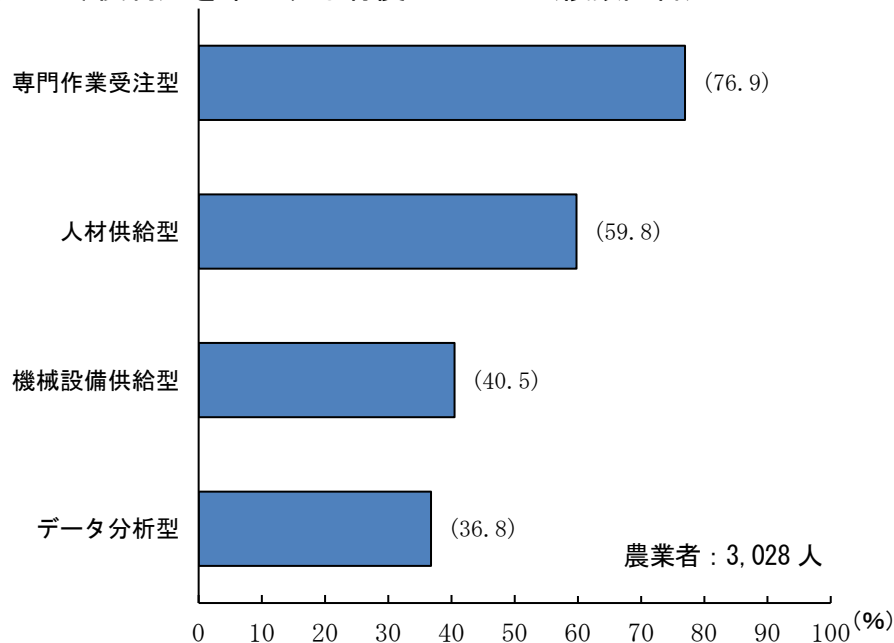
図5-3 有償サービスを利用していない理由（複数回答）



6 今後利用を希望する有償サービス

3で「希望する一部の農業支援サービスを利用できている」と回答した者及び4で「今後利用する意向がある」と回答した者において、今後利用を希望する有償サービスを4類型別にみると、「専門作業受注型」と回答した割合が76.9%と最も高く、次いで「人材供給型」(59.8%)、「機械設備供給型」(40.5%)、「データ分析型」(36.8%)の順であった。(詳細は、統計表の8(1)参照)

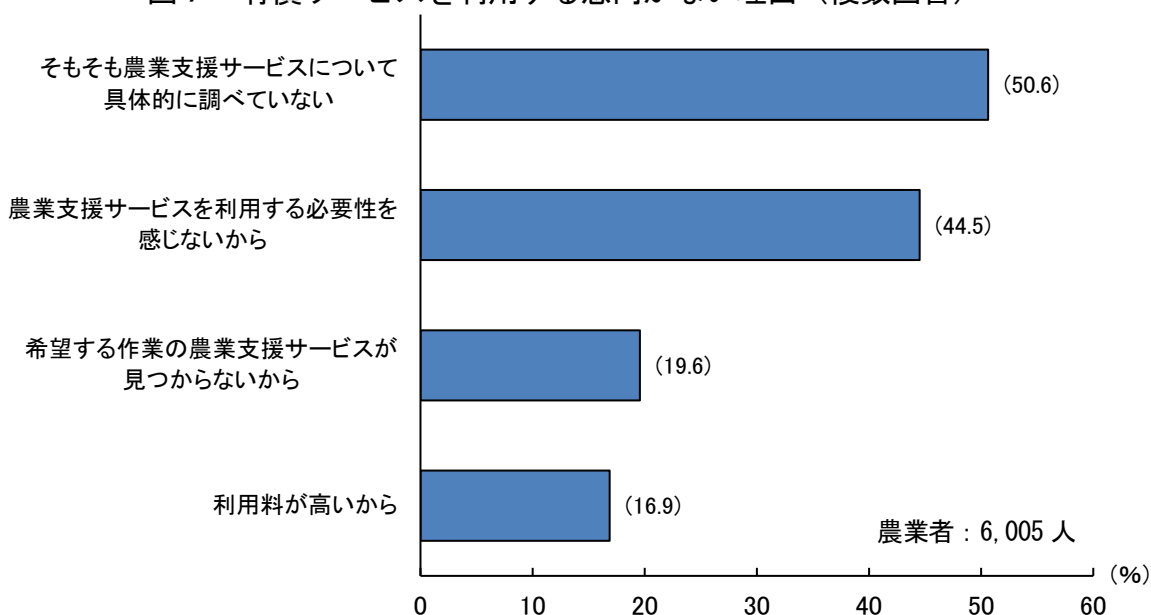
図6 今後利用を希望する有償サービス（複数回答）



7 有償サービスを利用する意向がない理由

4で「今後も利用する意向がない」と回答した者において、意向がない理由については、「そもそも農業支援サービスについて具体的に調べていない」と回答した割合が50.6%と最も高く、次いで「農業支援サービスを利用する必要性を感じないから」(44.5%)、「希望する作業の農業支援サービスが見つからないから」(19.6%)の順であった。(詳細は、統計表の9参照)

図7 有償サービスを利用する意向がない理由（複数回答）

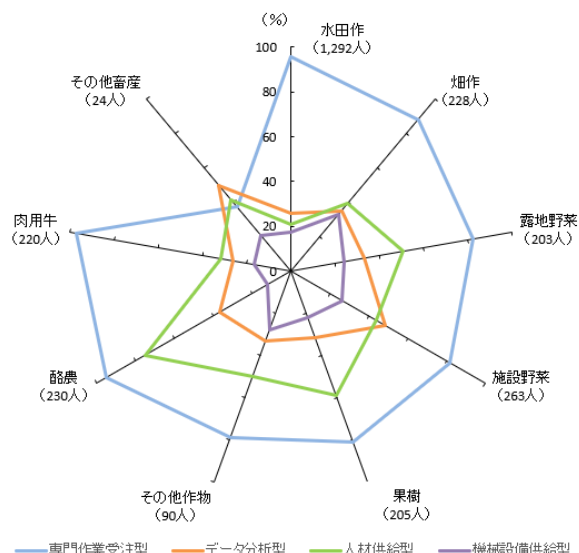


Ⅱ 販売金額 1 位の部門別（有償サービス 4 類型別レーダーチャート）

1 利用している有償サービス

利用している有償サービスを 4 類型別に区分し、過去 1 年間の販売金額 1 位の部門（以下、「販売金額 1 位の部門」という。）（注）別にみると、「専門作業受注型」と回答した割合がその他畜産部門を除く全ての部門において 70%以上と最も高かった。また、「人材供給型」と回答した割合が露地野菜部門、果樹部門、その他作物部門及び酪農部門で 50%以上だった。（詳細は、統計表の 3 (1) 参照）

図 8 利用している有償サービス（複数回答）

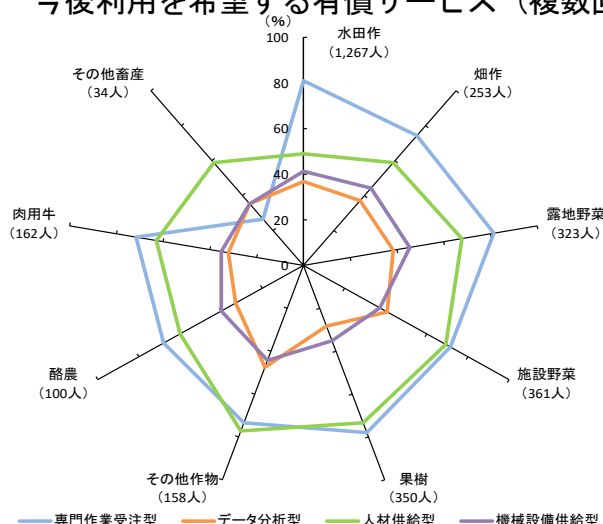


注：販売金額 1 位の部門とは、本調査の問 1 において、過去 1 年間の販売金額 1 位の部門の回答に基づいて区分した。
 なお、その他作物とは、水田作、畑作、露地野菜作、施設野菜作、果樹作経営以外の経営で畜産経営を除く経営。
 その他畜産とは、酪農、肉用牛以外の畜産経営で具体的には養豚、養鶏等の畜産経営等（以下同じ。）。

2 今後利用を希望する有償サービス

I の 3 で「希望する一部の農業支援サービスを利用できている」と回答した者及び 4 で「今後利用する意向がある」と回答した者において、今後利用を希望する有償サービスを 4 類型別に区分し、販売金額 1 位の部門別にみると、「専門作業受注型」と回答した割合がその他作物部門及びその他畜産部門を除く全ての部門において 60%以上と最も高かった。また、「人材供給型」と回答した割合が水田作部門を除く全ての部門で 50%以上だった。（詳細は、統計表の 8 (1) 参照）

図 9 今後利用を希望する有償サービス（複数回答）



【統計表】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040124360&ext=xls>

【調査の概要】

https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/attach/pdf/nougyou_shien_23.pdf

【ホームページ掲載案内】

本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「農林水産行政等に対する意識・意向調査」でご覧いただけます。

<https://www.maff.go.jp/j/finding/mind/>

【関連リンク】

農業支援サービス関係：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞農業支援サービス

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>

お問合せ先

◎本調査結果について

農林水産省 政策課技術政策室
技術調整班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3094
（直通）03-3502-5524

◎食料・農林水産業・農山漁村に関する意識・意向調査について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計解析班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3580
（直通）03-3502-5631

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線：3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>